

建築士

おおた



士 楽 敷

式 活 活

会 員 増 強 に ご 協 力 を !

~ 会 員 二 人 で、一 人 の 入 会 勧 誘 を ~
目 標 3,000 人 突 破



社 団 法 人 大 分 県 建 築 士 会

CONTENTS

1. 巻頭言	副会長 芳山 憲祐
2. パッションin宮崎	佐伯支部 志賀 智昭
4. 第11回まちづくり会議	玖珠支部 大分支部
10. 建築業務とCAD その3	大分支部 江藤 邦雄
12. 舌検隊パート 第3回	大分支部 宮崎 敏信
14. わたしの建築 (My Work)	中津支部 国東支部 佐伯支部 中津支部
16. 会員紹介 PERSONAL INFLUENCE	別府支部 宇佐支部 臼杵支部 津久見支部
18. シリーズ登録文化財 No.7 古手川酒造(主屋/蔵)、古手川家住宅	臼杵支部 佐々木仁志
20. アートポリスへの誘い	別府支部
23. インフォメーション	
~ 中津支部 ~	
~ 高田支部 ~	
~ 臼杵支部 ~	
~ 国東支部 ~	
~ 宇佐支部 ~	
~ 佐賀関支部 ~	
~ 津久見支部 ~	
31. 林業への想い	大分支部 秦 猛巳
32. 行政だより	大分県土木建築部企画検査室
新会員紹介	事務局
34. 事務局だより	事務局
36. まちづくり活動助成事業中間報告	中津支部 佐賀関支部 玖珠支部

表紙説明

名称 くにさき総合文化センター
建築場所 大分県東国東郡国東町
大字鶴川160番地の2
事業主体 東国東広域連合
東国東郡5ヵ町村
国見町、姫島村、国東町
武蔵町、安岐町
設計 新居千秋都市建築設計(株)
敷地面積 約1万3640㎡
延床面積 6868㎡
構造 鉄筋造、一部鉄骨造
総事業費 約38億6千万円





巻頭言

「建築を取り巻く社会環境に思う」

副会長 芳山 憲祐

昨今、建築を取り巻く社会環境が大きく変化しています。

地球の温暖化に伴うCO2の問題は、とりわけ先進国に大きな課題を残しているようです。

このような状況にあって、建築に携わる私達もリサイクル法の施行や、品質確保の促進等に関する法律、及び建築基準法の大幅な改正など新たな問題に取り組まなければなりません。

特に、あの阪神淡路大震災後は建築や土木の構造的なことが見直され、特に木造建築に関する基準の改正が行われ少しずつ理論的に説明ができるようになってきています。その中で、建築物の仕様規定が性能規定化とされる時代へと変わってきました。このような新しい考え方を取り入れ、建物の品質を表示しようという法律が「品質確保の促進等に関する法律」です。この法律が施行されて早2年になりますが、遅々として進まずまだまだ一般化するまで説明会が必要になると思います。

この法律も社会の要望があって制定されたにも拘らず、設計者の説明が足りないのか、それとも建築主がその必要性を感じていないのか、なかなか建物の品質表示を希望する建築主がないのが現状です。品質確保のための法律を適応することによって、複数の人による検査を受ける事になり、このことだけをみても、建築主にとっては安心できる建物となり良いことと思います。

これまでの建築基準法をクリアすればよいという考えから、建築基準法のハードルを越えてさらにどの程度の安全性や品質が加算されているのかを表示するこの法律を、設計者自身がもっと理解して、数値的に確認しておく必要があるのではないのでしょうか。

また、品質確保の法律によって住宅という財産の価値についての考え方が変わったり、リサイクル法によっては古材の流通が始まり、結果として建築資材の流れに変化が生じています。既に、木材はプレカットという産業が生まれて、製材工場から市場を介して工務店や大工さんへの流通であったものが、プレカット業者へ直接販売されるという流れに変わってきています。

新しい法律が施行されることで社会構造が変化することになり、新しい産業が生まれたり、流通革命が起きたりと、建築に対して新たな期待を燃やす1人です。

21世紀の宮崎談話

「日向で和！ 神話を話！ 九州の輪！」

平成13年度九州ブロック大会
パッションin宮崎(報告)

大分県のサマーセミナーを起源とする、九州ブロックのパッションが1月26日に開催されました。

近そうで遠い宮崎ということで6時間もかかった支部もありましたが、35名+4組の家族が大分県から参加しました。(大会参加者383名)

パッションは開催県が独自に企画を任されています、家族参加型の形式をとったのが今年の大きな特徴です。

第1分科会「ITルネッサンスは、始まった」

建設CALS/SEとSXFファイルについての講演で、「電子入札」や国際規格にも準拠したCADの標準フォーマット「SXF仕様」と言ったキーワードが説明されました。多くの会員が利用しているJW_CADが、現時点ではSFX仕様の基準レベルに対応していないと言った内容が印象に残った方は多いのでは?今後の展開に要注意です!

第2分科会「日向神話ロード」

西都原と周辺古墳群の景観の見学コースでした。「天気の良いときにもう一度見学したい!」と興味を持たれた方も多かったようです。

第3分科会「青島のまちづくりと木のカatalogづくり」

新婚旅行のメッカであった青島は、観光不振等の影響で、かつての賑わいは影をひそめているのが現状...青島のまちづくりをふくめた未来についてテーブル討議が行われました。

雨の影響を一番受けた分科会がここで、見学から帰ってきて靴下を絞る会員さんの姿も.....

「建築士会の人たちは優しいね。この大雨の中、誰ひとり文句を言う人が居なかったね。」と宮崎県のメンバーが話していたという講評が印象に残りました。

第4分科会「親子で探る宮崎の歴史と建築ウォークラリー」

今回のパッションの目玉企画です。

我々がどのような活動をしているのか見て貰う・子供達に建築に関して興味を持って貰おう...そんな思いをこめでの企画でした。

あいにくの雨のため「けんちくウォークラリー」は残念ながら屋内に変更に...

図形や環境といった内容の 建築士会らしいクイズに子供達は一生懸命答えていました。



クイズに答えスタンプを貰いました

続いて、子供達に未来の家を描いて貰いました。私達の頭からは想像できない楽しい家が出来上がりました。



買い物だって行けます!

お土産に「MY はし」を!

割り箸ではなく携帯用の箸を使うことによって環境について考えました。



子供達が描いた未来のいえ



変身前...

懇 親 会

いよいよ懇親会！会場を青島パームビーチホテルに移動しての懇親会です。本来なら大会もこちらで行う予定でしたが諸事情により総合武道館で行いました。（それにしても、立派な武道館でした。総工事費は幾らだったのか気になるところです...）

各県紹介は替え歌合戦です。別府の渡辺青年部長作詞の替え歌で大分県をアピールしてきました。



宮崎のスタッフ達



大分県の歌に聴き入る参加者？



家族そろって

懇親会も無事終わり、江藤特派員指揮の元 夜の町（西橋/ニシタチ）へ繰り出すのであります...

さて、次回パッションは大分県が開催県となります 各々の理解と積極的な協力をお願いします。

佐伯支部：志賀 智昭



事例報告:フュージョン長池の富永さん、話の内容がとにかくすごい

(社)日本建築士会連合会主催 第11回まち

日程：2月1日(金)・2日(土)

場所：東京都多摩市

多摩NPOセンター

(旧西永山中学校)

第11回まちづくり会議」 に参加して

玖珠支部 岩田 政勝

「ストック時代のすまい・まちづくりNPOと建築士」と題して第11回まちづくり会議が2月1日、2日の2日間、東京都多摩市の多摩NPO支援センターで行われ、大分県から大分市役所の松崎さん、清水さん、私の3名が出席した。

会場となった西永山複合施設は中学校だった建物を市の福祉施設とNPO支援センターとして活用しているものであり、各地で課題となっている廃校利用のモデルとなる施設である。

はじめに主催者から「NPO法の成立、地域分権法の改正、介護保険の開始は確実に地域のまちづくりの現場を変えつつある。この時代の変化の中で建築士という専門家が地域で果たすことができる役割を改めて考えてみたい」との主旨説明があった。

つづいて、日本NPOセンター常務理事の山岡氏（法政大学教授）の「すまい・まちづくりNPOを取り巻く社会の現況と展望」と題した基調講演があった。

（基調講演の要点）

- ・まち・すまいづくりの「つくり」に共通するものは「こころあわせ」のプロセスであり、市民・住民が責任ある立場で参加する必要がある。
- ・参加者による新たな想像の場として関係者・関係団体をつなぐ独立したNPOが必要不可欠である。
- ・NPOの活動には専門性が必要であり、専門家の参加が強く求められる。

- ・建築士（会）に期待される役割は様々な専門職がネットワークを結んで個別のNPOを情報や知識で支援する「支援仲介型NPO」が中心となる。

つづいて、多摩市役所のまちづくり担当者から市民と行政が対等な立場で取り組んでいる多摩市の行政システム（市民参加・参画、協働システム）について、多摩NPOセンターの代表から、当センターの現状と課題について説明があった。

休憩と当施設の見学を挟んで3つの事例報告と問題提起が行われた。

（事例報告1）

ニュータウン再生に取り組んでいる多摩市まちづくり研究会の代表から「1999年6月から市総合計画の基本構想策定にかかわったことがきっかけでNPOを設立し、その後基本計画の策定、現在は実施計画策定にかかわっている。建て替え問題、少子高齢化対策などの問題を抱えている。」との報告があった。



懇親会会場。もとは理科実験室？

づくり会議

協力団体：
多摩市まちづくり研究会
NPO・FUSION 長池
NPO法人市民福祉ネットワーク多摩、他



分科会のワークショップ。和気相合の中にも熱気が...

(事例報告2)

多摩ニュータウン南西部でコミュニティビジネスを展開しているNPO・FUSION長池の代表から「平成8年に団地内でアニメ映画の上映会を開催したことをきっかけに公園の清掃、スポーツ大会、さらには長池公園自然館の運営、住宅管理支援事業、インターネットサービスなどビジネスも展開している。現在、市からの委託や補助を受けて運営しており、財政的な自立が今後の課題である。」との報告があった。

(事例報告3)

NPO法人市民福祉ネットワーク多摩の代表から「保育園に勤務している関係で園児の父親の会をつくり、園内の活動から地域に活動の場を広げ、障害者と共に働く場作り、デイサービス、高齢者の交流の場作りに取り組んでいる。報告2と同様に財政的な自立が課題である。」との報告があった。



他県の会員と。センター職員の手作り料理をいただきながら

1日目の会議が終わり、元は理科実験室であったと思われる部屋で懇親会が行われた。当支援センターの職員による手づくり料理をいただきながら短い時間ではあったが全国の建築士と懇親を深めることができた。

2日目は前日の報告に基づき4つの分科会に分かれて、それぞれのテーマ別に行行政、専門家、市民と建築士との関わり方について議論し、ポイントとなるキーワードを探した。その後、全体会で分科会報告がおこなわれ、今回の会議の全てが終了した。

NPOの文字を新聞でみたことがある程度の知識しかない私にとってそれぞれの報告は驚きの一言であった。また、懇親会や分科会で各県の建築士の話聞くことができたが、参加者の多くがNPOを活用したまちづくりに取り組んでいる実体を知り、さらに驚かされた。例えば、バリアフリー工事の設計をきっかけに福祉活動をはじめた人やコーポラティブハウスづくりに取り組んでいる人など、全国各地で建築士がNPO活動に積極的に取り組んでいるのである。

会議が終わり、我々3名は他県との活動の差に衝撃を受け、大分でもNPOのような新たな制度を活用したまちづくりをはじめなければとの思いを強くし帰途に着いた。

最後に、報告者から発せられた言葉の中で、私の心に残った言葉を列記して、この会議の報告を終わる。

- ・ 専門家にはプロ・ボノ精神
(よき公共のために)が必要である
- ・ NPO = New - Public Organization
(新たな公共の担い手)
- ・ これまでの分権は垂直分権
(国から県・市町村へ) これからは水平分権
(市町村から市民へ)

まちづくり会議に参加して 思うこと

大分支部 清水 剛

まちづくり会議の概要は、玖珠支部の岩田氏によって述べられているので、今回の会議を通しNPOについて考察してみたい。

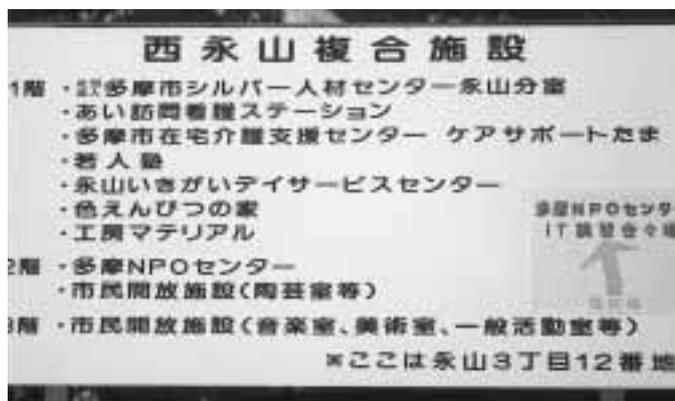
これまでのまちづくりでは、機能が優先され、ゆとりやうるおいのない画一的なまちづくりが行われ、市民の多様なニーズに応えることができない傾向にあった。

このような反省から、全国的には、国の指導もあって住民主体のまちづくりや個性あるまちなみの創出など行われる地区もあらわれるようになってきた。

世界的なまちづくりの方向は、さらに進化しており、NPO、NGOなど、民間が主体となり行政はそれを手助けするという考え方が主流であり、特に欧州ではパートナーシップによる実践的な住民活動の中で、盛んなまちづくりが行われている。日本でも、世界的情勢を受け、社会変革の手段としてNPOが注目されつつある。



会場（旧西永山中学校）正門で…



NPOの発展

市民の自由な意見が活かされる社会とは、多様性のある社会であり、その多様性は市民の意見を採用することによって構築されるものである。それらの活動を支えるシステムを構築することが必要であり、その具現化策がNPOとなりつつある。

なぜ、昨今の情勢の中でNPOが叫ばれるようになったかということに着目して考えてみる。

日本では、都市部でやっとNPOとして形作られてきているものの、地方においては、まだ発展途上の状況にある。

もともと日本では、自治会、町内会という世界に誇れる組織が存在している。これは、行政と一線を置いて、生活に密着した、住民自らのまちづくりを行ってきたボランティア組織であり、コミュニティを形成してきた原動力となっていた。

しかし、近年の都市型社会の発展により、特に都会でのコミュニティの崩壊が社会問題と、多様性のある社会の発展により、これまでのコミュニティづくりでは、対応できなくなった事もNPOが発展しつつある原因だと言えよう。

NPOの定義

1998年12月1日に特定非営利活動促進法（通称NPO法）が施行され、新しいコミュニティ形成の手法としてNPOが注目されるようになってきたが、ここでNPOについての説明をする。

NPOとは、Nonprofit Organization又はNot-for-profit Organizationの略で、通常は民間非営利組織と呼ばれている。これに対して、営利組織（企業等）をFor-profit Organization（略してFPO）と呼ぶ場合がある。一般的にNPOは、法人格の有無や種類（任意団体、NPO法人、社団法人、財団法人、社会福祉法人、協同組合など。時には実態としては非営利の活動を行う営利法人も含む）を問わず、民間の立場で、社会的なサービスを提供したり、社会問題を解決するために活動する団体を指します。

1 組織であること

法的に法人として認証されているとかではなく、実質的に規約や定款などを定めており、組織としての意志決定のシステムが構築されているかどうかによります。

したがって、規約等がない組織についてはNPOとはいえません。

2 民間であること

政府や行政、その外郭団体等はNPOには含まれません。この考え方を明確にあらわしているのが、NPOを日本語で民間非営利組織と訳していることです。

3 利益分配をしないこと

NPOはボランティア活動だけを行うわけではなく、収益事業も行います。その時に得た利益については、出資者等に分配するのではなく、次の活動資金として行くことです。決して営利を目的としたものであってはなりません。

4 自己統制的であること

これは組織としての必要条件を表しています。組織として活動するためには、自己統治能力を持たなければなりません、そのため、理事会等の意志決定機関があることが必要です。

5 自発的であること

NPOの活動においては、自発的な参加が大切です。

以上、NPO法により組織としての位置づけが明確にされている。

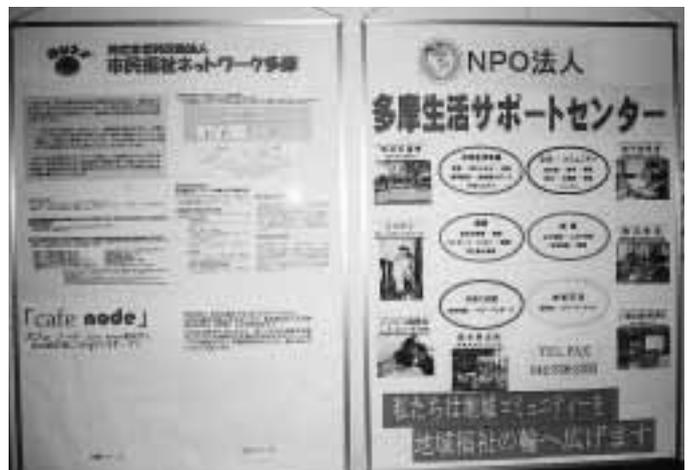
まちづくり会議に参加して

まちづくり会議に参加されたNPO活動を実践している方々は、これまでの歴史的背景に基づき、市民一人一人が生活共同体である都市活動における一つの歯車であることを認識し、人が住みやすい都市環境を自分たちの手で創り上げようとしている。

しかし、都市部では、個人個人それぞれが興味のあることでしか関心を示さず、多くのことに対し無関心であり、コミュニティ全体を考えない風潮が生まれつつあると思う。これから私たちも建築士という専門の立場から新しいコミュニティづくりに対し積極的に取り組んでいく必要が生じてきていると感じている。

最後にこのような研修の機会を設けてくれたことに感謝したい。

活動内容を紹介している各NPO法人



第4分科会 「NPOセンターの運営方法と 廃校の再活用」に参加して

大支部 松崎 和夫

出席者

渡邊眞行（多摩市政策推進協働部企画課企画調整担当）

森岡淳子（多摩NPOセンター）

豊永信博（連合会まちづくり委員長）

久米将夫（同まちづくり委員） 他各県代表者7名



第4分科会討論風景

本まちづくり会議には、建築士会連合会のまちづくり委員10名を含め、約100名の出席者があったが、第4分科会は、タイトルが固い（暗い!?!）せいか参加者が11名と少なかった。しかし、私の今回参加の理由は、「公設備・市民設立・市民運営」を掲げる当センターの実状を詳しく知りたいということであったため、私にとっては好都合でもあった。

第4分科会は「NPOセンターの運営方法と廃校の利用について」がテーマ。今回参加のNPOセンターの森岡さんは、センターの運営検討委員会13名のうちの1名であり事業担当部長をされているが、同時に「NPO法人ハンディキャプゆずり葉」の代表でもある。この運営検討委員会が、センターの核的組織であり、立ち上げの段階から関わってきたとのことであった。地域には子育てが終わり余暇のある女性がたくさんいるが、みなさん全国各地から多摩に移り住んでいるため、地縁ではなく知縁（造語）で集まり、そのグループもたくさん出来てそれらが外に広がって仲間をつくっていった。その結果、約2千弱の公民館登録団体がありその中から、新しい「公共」を担う市民活動を目指して、現在約400のNPO法人が設立されてきたという説明であり、それぞれが活動の場を望んでもいたとのこと。

また、多摩市役所の渡邊さんの説明によると、多摩のニュータウンが完成して約30年弱が経過し、市民の多くがここ数年から10年の内に退職を迎える年代にさしかかり、今までの会社中心の生活から地域に目が向けられようとしており、それぞれ今まで会社で培ってきた技術等を地域社会に還元する時期にも来ているとのこと。

センター設立の背景は以上であるが、経過はおおよそ次の表のとおりである。

多摩NPO支援センター設立経過

- ・1998年12月
NPO法(特定非営利活動促進法)の施行
- ・1999年7月
市民よりNPO支援センターの設立等の機運から「行政と非営利活動・団体等との協働に関する調査研究会」を設置
- ・1999年7月
同委員会と非営利団体との意見交換会
(1回目)開催
- ・1999年11月 " (2回目)開催

- ・1999年2月
多摩市は「多摩市非営利団体との協働に関する基本方針」を作成
- ・1999年5月
「多摩市NPO支援センター運営検討委員会」
を13人の市民委員と事務局(市側)で設立



職員室を改造した「多摩NPOセンター」

センター設立に当たっては、市の干渉を受けずに対等なパートナーシップを構築するという立場を基本的な考え方としている。その概念について、会議のテキストから抜粋した。

『 - - - 検討委員会で議論の結果、行政の干渉を極力避け、自主独立の活動を行うためには、公設市民運営を更に進めた、「公設備・市民設立・市民運営」という考え方が一番望ましいのではないか、という結論に達した。公設市民運営の場合、自治体が条例で支援センターを設置し、その理念と目的に沿って、市民が運営する、という概念が一般的で、鎌倉や仙台のサポートセンターがこれに当たる。

一方「公設備・市民設立・市民運営」の場合、自治体は単に場を提供するだけで、条例で施設を設置する訳ではない。NPO支援センターが独自に理念や目的、事業計画を作り、事業を実施する。市との関係で言えば、事業の一部に市から委託がある、ということになる。

市の条例で設置されるほうが、NPO支援センターの「場」の安定性や「経営」の安全性は担保されるが、反面、NPO支援センターの自主独立性が犯される可能性がある。条例によらない場合、いつ出ていくことになるかもしれない不安定さや自主事業実施の困難さは大きいですが、自主自立性は確保される。私たちは後者を選択した。 - - - 』

自主自立を保つため条例化をしない「公設備」とし、行政とも対等なパートナーシップの基に協働するという強い姿勢があらわれている。しかも、これら文章の末尾に『いつ出て行くことになるかもしれないという不安定さは、（逆に）自主事業の実施による経営の自立を促す緊張感にもつながる。』と言い切っている。センターが建前だけでなく、経営観念を備えた組織として、自ら宣言している。



全国から100人が参加した会場（左頁センター内）

廃校の再活用に関しては、渡邊さん（多摩市）の方から詳しい説明があった。14万人くらいの人口の多摩市で小中学校が既に5校廃校になっている。このセンターのある旧西永山中学校は、新築からまだ17年しか経過しない為、国からの補助金の関係で他の用途への転用で苦労されているとのこと。特に福祉関係や医療法人はスムーズに認められるが、それ以外のNPO法人等が入居することにに対して苦労するということがあった。



昇降口を改造して
「永山いきがいデイサービスセンター」が入居

センターへの改修等の初年度投資が約6千万で、毎年維持費が約1千万円。今後の要望として、エレベーターの設置、駐車場の確保等が挙げられていたが、広いスペース等の利用には消防法をクリアする必要があるとのこと。

NPOに関しては、初日に講演をされた富永さん(NPO・FUSION長池理事長)や福島さん(NPO法人市民福祉ネットワーク多摩代表)の組織のように、行政が後からやっと追いついていくというような先駆的な取り組みもあるが、森岡さんは地について継続させるため後継者の必要性を説かれていた。また、行政側として渡邊さんは多摩NPOセンターの立ち上げが出来たことは非常に大きい。そして設立のための運営検討委員会には、ほとんど市が入らないで纏めることが出来たことに大きな意義があり、全庁的にこの方法を取り入れて市民主導型の取り組みがやれるぞという弾みにもなったとのことであった。

2日間の会議を終え、多摩センター駅のレストランで本県から参加した3人で反省会をしたが、彼らも私と同様、こちらのNPOの先駆的な活動状況に圧倒されたと感じていた様子。まちづくりを行う一組織としてNPOを考えた場合、私の身近で行われている取り組みと活動のステージから隔世の感がある。しかし、我々が初めて目にした世界が、多摩丘陵のこの地で展開されており、そして今は異次元の世界ではあるが、確実にこの流れが今後我々の身の回りにも及んでくるだろうことを予感させられた、今回のまちづくり会議であった。



4 異なるCAD間でのデータ交換をする

1. はじめに

複数の人で一つの建物の設計を行うとき、同じCADであればなんら問題はないのですが、それぞれが使い慣れた異なるCADで設計を行うときに問題になるのがデータ交換です。今回からしばらく、DXF変換について説明いたします。

異なるCAD間でデータ交換を行う場合、一般的にはDXF (Drawing Interchange File) ファイルが利用されています。

DXFファイルは、元々USAオートデスク社が規定した規格で、同社のAutoCADの異なるバージョン間でのデータ交換を目的に作られたファイルフォーマットです。

DXFファイルはその詳細が一般に公開されていることに加え、テキスト形式で構造が理解しやすいことから、現在では、建築CAD業界では事実上の標準フォーマットとして定着していると思われます。

しかし、あくまで民間企業の定めた規格であり、ISO等の公的機関が選定したものではなく『DXF対応』といっても、実際に検証・承認されているわけではありません。

特に、DXFがサポートする全ての機能を、受け側のCADが備えているわけでは無いため、実際に異なるCADでデータの受け渡しを行う場合、いくつかのトラブルに見まわれます。

2. なぜファイル変換が必要か？

異なるCADソフト間でデータをやり取りする場合、それぞれのCADには固有のファイル形式があるのでファイル変換が必要となります。

例	JW_CAD =	*.JWC
	JW_CAD for windows =	*.JWW
	DRA-CAD =	*.MPP
	AutoCAD =	*.DWG など

みなさんご存じとは思いますが、異なるCADの場合、ただ単にファイルの拡張子を書き換えるだけでは読み込めません。

3. ファイル変換はどうすれば良いのか

ファイル変換のため、ほとんどのCADにはDXFファイル形式の入出力という機能があります。DXFファイルとはAutoCAD発売元のAutodesk社が定めた中間ファイルでTXT形式となっています。

データ変換の例

```
jw_cad(*.jwc) <--> DXFFファイル <--> AutoCAD(*.DWG)
JW_CAD for windows(*.jww) <--> DXFファイル <--> DRA-CAD(*.MPP)
```

以上の様にDXFファイルを使用すると相互に違うCAD間でデータの変換ができるのです。

しかし、これで一件落着なら良いのですが、現実はいろいろと問題がでてきます。

では「どのような問題が起こるおそれがあるか」次に事例をあげてみます。

1. 線色が変わる。
2. 線種が変わる。
3. データレイヤーが移動する。
4. 文字フォントが変わる。
5. 文字サイズが変わる。
6. 文字間隔が変わる。
7. その他諸々

以上のように、『DXFならば、種類の違うCADでもデータを渡せる』というのは間違いです。

なぜなら、DXFファイルは初めから共通フォーマットとして考えられたものではないからで、異なるCADのデータをDXFファイルを介して完璧に変換できるということはありません。

そこで、『種類の違うソフト間ではデータやり取りはできない。』ことを前提にして、どうすれば、出来るだけ完璧に近い状態で変換できるのかを勉強して行きましょう。

4. DXFの基礎知識

DXFを介してデータ変換を行うにはDXFファイルについての基礎知識が必要です。

DXFの基礎知識について以下におおまかに説明します。

- 1) DXFには何種類かのバージョンがあります。
GX5,R12,R13,R14,2000・・・など
- 2) 基本的にDXFは、文字データです。
テキスト形式 (TXT) でエディターなどで開くことができます。
- 3) ファイルサイズはアプリケーションのファイルサイズよりも大きくなります。(2倍以上になる。)
- 4) 基本的にレイヤ名に全角文字と半角カタカナは使えません。文字数は31文字までです。
- 5) 長さの単位はありません。
インチ・フィート・メートル等一切関係なし
- 6) 線の太さの項目がありません(色の項目はある)
- 7) 角度の単位は「度」です。
- 8) スケールはありません。
レイヤーごとに縮尺を変えることもできません。
- 9) DXFの仕様では、レイヤー及び要素数に制限はありません。
- 10) DXFファイルの拡張子は、常に[DXF]です。
3Dデータであっても[DXF]です。
- 11) MS-DOS・WINDOWSでのファイル名は
[半角8文字.DXF]とします。
- 12) ファイル名には全角文字、半角カタカナは使わないようにします。

古いものでは正常に読み込めない状態。

例をあげるとAutoCAD GX5から出力されたDXFファイルはR12,R13,R14,2000でも読み込めるがAutoCAD2000から出力されたDXFファイルはVerが下位のものGX5,R12,R13,R14で正常に読み込めない。

6 . DXFファイルの構成

DXFファイルはテキストファイルですので、エディターやWindows付属のメモ帳で簡単に開けます。(バイナリファイルのDXFもあるようですが、ほとんど利用されていないようです)
以下、DXFファイルの構成を説明します。

【HEADER：ヘッダーセクション】

ヘッダーセクションには、AutoCADのシステム情報や、図面範囲等の図面情報データが記載されています。DXFのバージョンもここに書かれています。

【CLASSES：クラスセクション】

AutoCADアプリケーションプログラムを使用した場合に現れるC++のクラスライブラリーのデータが格納される。

【TABLE：テーブルセクション】

テーブルセクションは、線種、レイヤ(レイヤ名)、スタイル、等が記載されます。

【BLOCK：ブロックセクション】

ブロックセクションは、ブロック図形のデータが記載されています。
ブロック図形は対応しているCADが少ないようです

【ENTITIES：エンティティセクション】

エンティティセクションには、各種図面データ情報が記載されます。
DXFのバージョンによって対応している項目が違います。

【OBJECTS：オブジェクトセクション】

R13Jより追加されたGROUPとMLINEのデータが格納されます。

【EOF：DXFファイルの終了】

データの最後に、ファイルの終了の印 EOF があります。 EOFとは End Of Fileの略です。

5 . なぜ問題が起こるか

AutoCAD (DWG) で表現できることは、すべてDXFで表現できます。

そのAutoCADのDXFでさえ完全な上位互換(説明別記)となっておりません。(ただし、Verによって違うものもあります)

ではAutoCAD以外のCADがすべてのDXFの機能項目をみたしているかとなれば、それは否です。

例えばDXFの仕様がない機能：レイヤごとに縮尺が変えられるCADをDXF出力してレイヤごとに縮尺が変えられないCADでDXF入力してみるとどうなるか。

そもそもDXFにはスケールがありませんから全ての縮尺で読み込まれます。

1 / 1 で描いた図面枠と1/100で描いた平面図などが混在している状態で説明するとDXF入力後 図面枠が表示されているのであれば 平面図は用紙外の部分に表示されていますし、平面図が表示されているのであれば 図面枠は左下に点の集まりのように表示されていると思います。

上位互換：Verの古いものはVerの新しいものでも読み込めるが、Verの新しいものからVerの

続く

舌検隊Ⅳ

第3回

白杵の巻

大分支部 宮崎 敏信

再開3回目となった今回は、県南ということで"白杵"にお邪魔した。店の選定は本部編集委員で白杵支部の佐々木氏をお願いし、数店の中からおでんの「のんきや」と居酒屋「うおんたな」を舌検した。

2月20日、前編集委員長の松崎氏とJRで白杵に向かう。45分で着く。歩いておでんで有名な「のんきや」へ。松崎氏は白杵で産声を上げたそうで、昔歩いた道を懐かしげに通って行く。



創業は昭和11年で今年で66年目だが、当位置に移り21年目だそうだ。現女将さんが24歳から切り盛りしており子供を背負いながら対応した頃もあったそうだ。たこ足・すじ・ラードで焼いた焼きトーフ・卵・がんもどき等々ほとんどが100円均一だ。

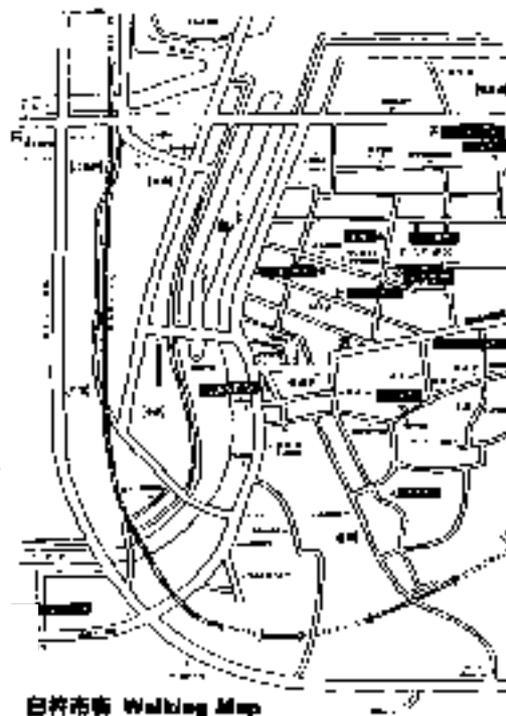
おでんには日本酒が合う。熱燗も頂く。女将さんの苦労話を聞きながらおでんをつつく。最後に大鍋を写真に撮り次の店に向かう。



ジャスト18:30店着。一步店に立ち入ると満員であった。人気の程がうかがえる。奥の座敷に案内される。佐々木氏が予約してくれており助かる。三重野白杵支部長、藤澤氏白杵調査研究委員長(前編集委員)が迎えてくれる。

「のんきや」はおでんがメインだが、魚料理もある。主人が漁師でいつも新鮮な刺し身等出せるそうだが、今回はお目当ての“おでん”とする。本来はカウンターで鍋を指しながら食するのが一番いいのだが、今夜は皿に盛ってもらう。生ビールで乾杯。中尾白杵事業委員長も加わる。

このおでんネタは各種共拘っており味が十分沁みており美味しい。かしわ・ガラ・スジで作ったスープを永年(終戦時)継ぎ足し継ぎ足して使っているそうで伝統の味を継承している。



歩いて4～5分で「うおんたな」へ着く。入り口に「歓迎・建築士会様」のプレートがあり気分良く入店する。高橋臼杵支部広報委員長が待っていてくれた。早速“刺し身の盛り合わせ”が大皿に乗せられ出てくる。6人前だがすごいボリュームだ。プリ・タイ・たこ・いかうに等々。やっぱり刺し身には日本酒であり、“西の関”をたのむ。再び乾杯となる。新鮮な刺し身はコリコリとして美味しい。思わず酒が進む。3～4本(2合瓶)空けて、やはり“地酒(臼杵市内醸造)で行こう”と“一ノ井手”とする。刺し身醤油は地元を配慮した「フジジン」・「フンドーキ」を使わず日田の醤油を使用している由。



「うおんたな」と言うので西洋的な料理を予想していたが、店名の由来は、魚(うお)店(たな) = 鮮魚店の集落の意味だそうで納得する。気分良く飲み話も弾む。臼杵支部では陸上部があり毎年「うすきさくらマラソン」に出場している由、一番速かった者がその年の部長になるらしい。現在は若林臼杵会計がなっている由。走りに少々興味ある小生も、今年は参加してみようかと思っている。(10年前に出場経験有り)また、高橋臼杵広報委員長は“建築士会各支部対抗駅伝大会”の開催の構想を持っているそうで何とか実現にこげつきたい思いた。

十分に頂き、話しも弾んで気持ち良く帰途に着く。2軒で飲んで食べて一人5千円と割安だ。



帰りは「上臼杵駅」から乗車する。店から5分程度で近い。映画「なごり雪」のロケにも使われたそうでレトロな感じを残している。臼杵市は高速の開通でお客さんが増えているようでホテルも高速付近から埋まって行くそう。由布院で高い旅館に泊まるより臼杵で美味しいふぐ料理を安く堪能した方がお得のようだ。次回は県北予定です。

『のんきや』 ☎0972 - 63 - 5965

『うおんたな』 ☎0972 - 63 - 8159



わたしの建築 MY WORK

パース作品の掲載は異例のことだと思いますが、制作上のコンセプトを簡単に紹介させていただきます。

私の事務所では、現在では約8割がCGです。でも、やっていることは非常にアナログ的であり、手書きとほとんど変わりません。

CGにしる手書きにしる、クライアントの要望を120%表現できないと魅力あるパースとは言えないと思います。特にCGでは無機質になりがちなので、何がしかの表情を加えオリジナリティを出すように心がけています。

ハセガワパーススタジオ 長谷川 詳



高尾邸

【設計：(有)高尾設計事務所】



都邸玄関ホールCG【設計：(有)ウトウ設計】



県営大悟法団地CG【設計：(有)ツジハラ設計工房】

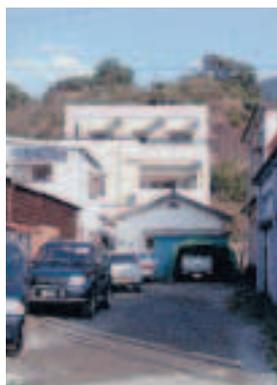


建物名称 くにさき建築士会館
 建築場所 国東町安国寺718
 建築主 (社)大分県建築士会国東支部
 設計者 河野建築設計企画 河野 和博
 施工者 (有)国東建設
 構造・面積 木造平屋 39.52m²
 用途等 建築士会学習教室



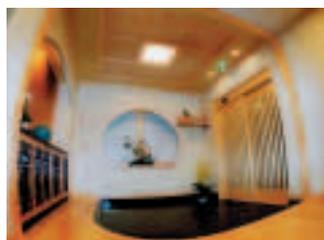
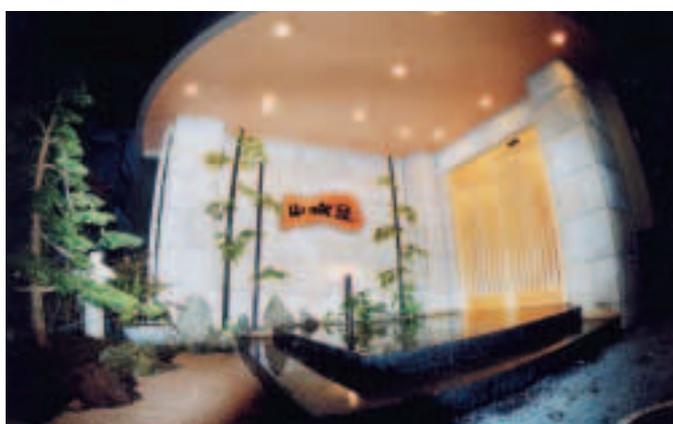
わたしの建築 MY WORK

建物名称 仕出し・割烹 山城屋
建築場所 蒲江町蒲江浦
建築主 鳥生 多恵子
設計者 小川設計一級建築士事務所
施工者 蒲江土建株式会社
構造・面積 RC造3階建 470m²
用途等 仕出し割烹併用住宅



蒲江町の中心街の狭小地に立つ建物です
 前面道路より路地裏を50mほど奥に位置する為通りから建物全体を見る事は、出来ません。

1階は厨房と親世帯、2階は和室の宴会場
 3階は子供世帯の2世帯同居、仕出し割烹併用住宅です。



建物名称 西谷温泉公園内 体験農園施設
建築場所 大分県下毛郡本耶馬溪町大字西谷
建築主 本耶馬溪町
設計者 (有)やまむら一級建築士事務所
施工者 株式会社 佐伯建設
構造 茅葺き木造平屋建(4棟)及び、鉄鋼造一部木造(1棟)
規模 331.35m²
用途等 研修施設、宿泊施設



本耶馬溪町西谷にある、西谷温泉公園内に建設したこの施設は、茅葺き平屋建ての宿泊棟(4棟)と鉄骨と木の混構造の研修棟からなる。

この敷地は、三方を山に囲まれ、残りの一方は開けた素晴らしい眺望を持っている。研修棟は、その眺望を取り込むように大きく張り出して配置し、それにより残りの敷地は、限界と切り離された小規模な仮想集落を創り出している。この集落には、来てくれた人に昔の農村を疑似体験してもらえるように茅葺きの建物を4棟、互いのプライベートを確保出来るように配置した。

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフュエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



生年月日 昭和45年3月27日

勤務先 別府市役所

趣味 渓流釣り、バレーボール etc

将来の夢、モットー等

別府市役所に入って8年になりますが、昨年建築士を取得して、士会に入会させていただきました。仕事は都市計画課に勤務していて、別府の都市計画やまちづくりに携わっています。建築のことについてはまだまだ素人ですが、士会の活動にもできるだけ参加してこれから勉強していきたいと考えています。

最近心がけていることは、どういうことでも「何が最も良いか」ということを客観的な視点で、状況に応じて考えていくことです。そういう目を養って本当にいいもの、いいことを的確に判断できる人になりたいと思っています。

(担当者よりひとこと)

別府支部独身男性の中では、群を抜いての好感度No.1です。一度お会いしたい方は、顔写真同封の上、メッセージを別府支部までご郵送ください。



こもりた 籠田 真一郎 (別府支部)

生年月日 昭和53年2月17日

勤務先 (有)金田建設

趣味 ねること

現在、親の経営する会社で働いています。短大を卒業してから、二級建築士の資格を取得し、親の手助けをしているつもりです。実際は、まだまだ勉強中で、何もわからない状況の中で、建築の仕事に携わっていますので、これから先もいろんな人に接し、どんどん勉強していくつもりです。今までに何度か、サマーセミナーや、全国大会などの行事にも、参加させていただき、そこでまた、多くの人と接する機会もありました。今からも、色んな行事に参加したいと思いますので、よろしくお願い致します。



金田 舞香 (宇佐支部)

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



神田 高士 (臼杵支部)

生年月日 昭和40年10月2日

勤務先 臼杵市教育委員会文化財課

趣味 水彩画、乗馬、模型工作

将来の夢

臼杵城下町と臼杵城の450年間の変遷を立体復元図にまとめること。郷土の歴史に関心のない方々からも「意外と面白いじゃねえか」と言ってもらえればありがたいですね。

個人的には実体験に基づいた小説を書くこと。

ネタだけは山ほどありますので……。

(担当者より一言)

臼杵支部の場合、正会員よりも準会員の方が活躍することが多くあります…と言うのも建築士の資格に拘らず建築に少しでも関係がある町づくりや文化財などに関わっている方々はすべて会員にしてしまうのが当支部の方針だからです。彼の場合もそんなうちのひとり、専門は文化財です。よって今回の「臼杵城大門櫓復元」には大変ご尽力頂いております。

生年月日 昭和26年12月7日

勤務先 津久見建設(株)

趣味 磯釣り・会の仲間と一杯

将来の夢

29歳の時、10年間勤めた設計事務所から独立し、夢であった設計事務所を開設したまでは良かったのだが…途中で夢やぶれ、以後、機械設計の業務に15年(暗黒時代)努めた。そして、子供も成長し48歳にして転職、再び建築士会に戻る事が出来ました。

現在15年間のブランクを取り戻そうと日々奮闘の毎日です。今の業務は土木建築の施工管理が主体ですが、もう一度設計者として又、施工的立場からも納得できる住宅を手掛けて見たいものです。

出戻り中年男ですが、会員の皆さん宜しく!



浜田 正 (津久見支部)

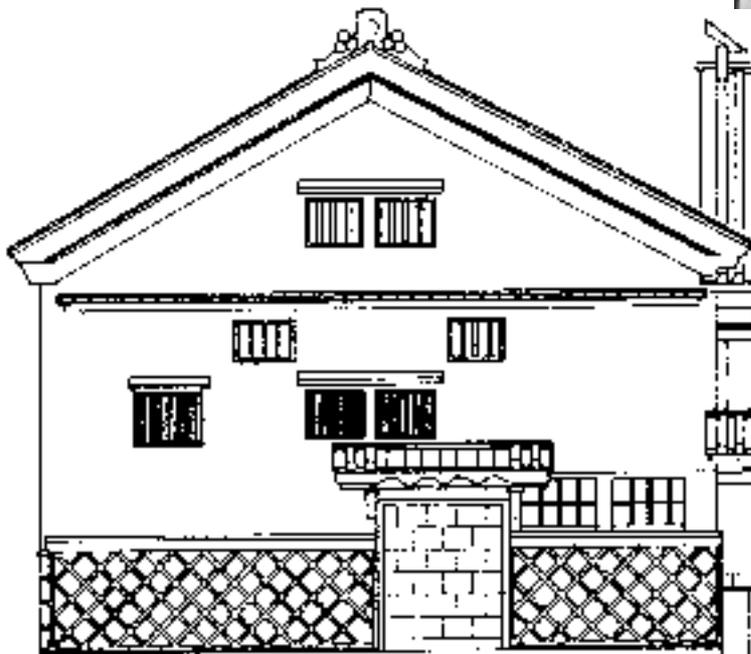
古手川酒造(主屋/蔵)、古手川家住宅

名称：小手川酒造/主屋
所在地：臼杵市大字臼杵字浜町538
所有者：小手川酒造(株)
建築年代：慶応元年
登録：平成9年7月15日 No.44 - 0007号
登録基準：「国土の歴史的景観に寄与しているもの」
種別：産業2次



名称：小手川酒造/蔵
所在地：臼杵市大字臼杵字
浜町538
所有者：小手川酒造(株)
建築年代：慶応元年
登録：平成9年7月15日
No.44 - 0008号
登録基準：「再現することが
容易でないもの」
種別：産業2次

名称：野上弥生子文学記念館(小手川家住宅)
所在地：臼杵市大字臼杵字浜町538
所有者：小手川酒造(株)
所有者：慶応元年
登録：平成9年9月3日 No.44 - 0017号
登録基準：「造形の規範となっているもの」
種別：住宅



小手川酒造 「蔵」



小手川酒造 「主家」

現在、町八町と呼ばれる臼杵の町割りの中世末期、自らクリスチャンとなり、ドン・フランシスコと称し、南蛮貿易によって繁栄を築いたキリシタン大名、大友宗麟により城下町としてその基礎が造られた。その繁栄ぶりは堺や博多にも匹敵し、「豊後のローマ」といわれるほどの国際都市であった。その後、江戸期を通して幾多の火災に見舞われ、蔵の町と言われる様な商家造りの町屋へと発展してきた。その中心部に位置する小手川酒造本店は、江戸末期の慶応元年に建築され、蔵造りの木組みはこの地方独特の形態を持つ。それに続く主屋は当時の気風が色濃く伝わる質素で堅牢な造りと合理的な美意識で構成され、この町を代表する建物のひとつとなっている。また、臼杵出身の女流作家、野上弥生子の生家でもあり、明治33年、彼女が15歳で東京の明治女学校へ入学するまでの間、両親のもとで兄弟らとともに育った家である。



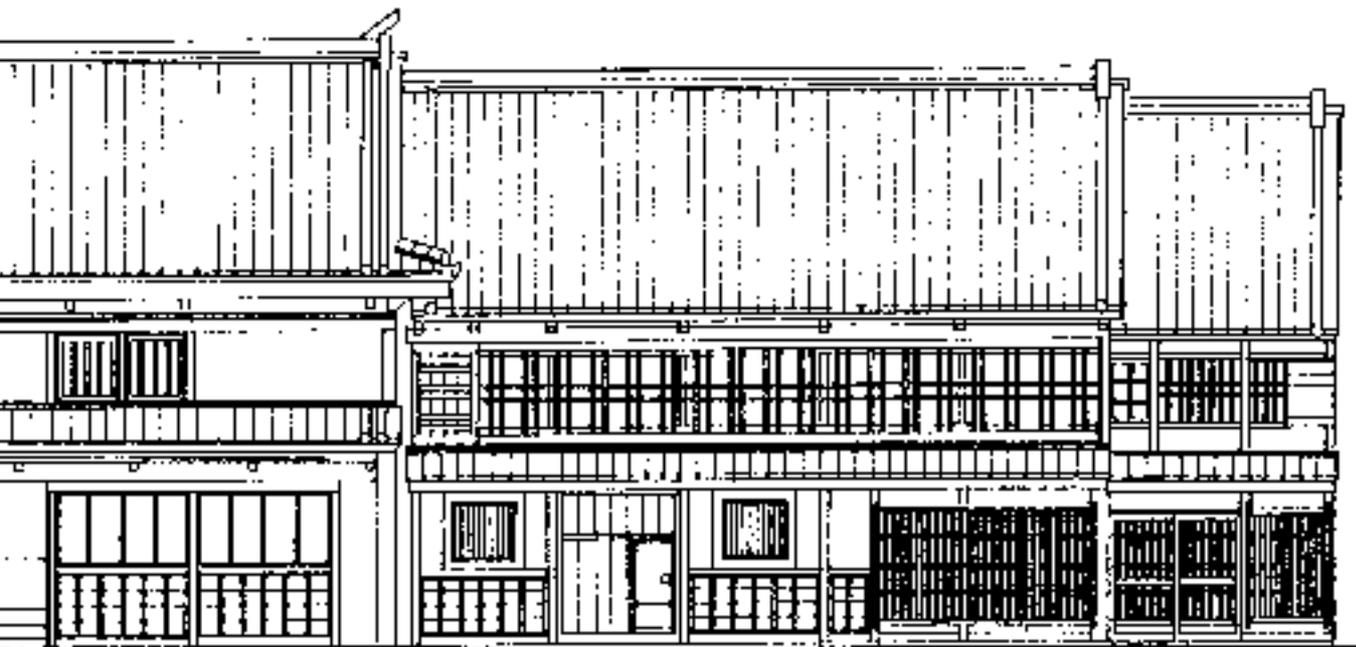
キリシタン大名 大友宗麟



小手川家住宅は、主屋に続く別棟として同じく慶応元年に建築されたもので木造2階建平入りの商家造りの外観は、この地方独特の“セガイ軒”と呼ばれる構えで、造形の規範とされるものである。現在、屋内の一部を改修し、「野上弥生子文学記念館」として一般に公開しており、観光客や地元の方々に親しまれている。



野上弥生子記念館 内部



小手川家住宅

アートポリスへの誘い^{いぎな}

別府支部

我支部では、2年に1度県外の視察を兼ねた研修旅行を行っている。「今年はどこにするかな～。今までと違う所がいいな。」「四国もいいな～」という意見をよそに、「熊本県のアートポリスがいい。それも天草地方がいい。」と資料まで揃えてくれた人がいたので、今回は、あっさりそれに決まった。6、7年前にも熊本県のアートポリス（八代・熊本市内）を見学に行ったことはあるが、今回は結構な遠征軍となり行程的にもきびしいものがあった。（平均年齢は50歳台、一番若い男性でも39歳ということで、夜の宴会では酔いの回るのが、いつもより早かったような気がした。）

今年は、アートポリス関係の人達と事前連絡をとることにより、更なる立派な資料を取り揃えることが出来、また天草ビジターセンターと天草工業高校の見学においては、設計士自らの主旨説明等をしていただき、大変満足できる研修となったことを皆さんに報告しておきたい。（熊本県建築士会、青年部会、牛深支部及び県庁の方々、その節は大変お世話になりました。）

（ 1 日 目 ）

別府 不知火文化プラザ 三角港フェリーターミナル 漁業取締役事務所 天草ビジターセンター 松島町会津終末処理場管理棟 天草工業高校 ホテル

< 不知火文化プラザ：美術館・図書館 >

不知火現象をモチーフにしたルーバースクリーンがやわらかな光の空間をつくりだしていた。（b y 資料）



不知火文化プラザ

< 三角港フェリーターミナル：海のピラミッド >

貝殻と同じように、内外の二重螺旋のスロープの床版によって連続的に補強されたコンクリート外殻構造物。私としては一番興味深い建物であったが、当日は改修中につき、室内のみの見学となった。



フェリーターミナル外観



フェリーターミナル
内観

漁業取締事務所

海の交番とも言うべき機能を備えた施設。海側にはゲート状の大屋根が配置され、海からやってくる神、幸、富を迎え入れる「神への門構え」となっている。



漁業取締事務所

天草ビジターセンター：展望休憩所

観光客に対する国立公園のインフォメーション機能を持つビジターセンターと、ティーラウンジ・物産ショップがある展望休憩所の2棟で構成されている。ここでは、設計士自らの意見や思い入れが聞けて興味深いものとなった。



天草ビジターセンターにて

松島町会津終末処理場管理棟

終末処理場の周辺は、現在地域の公園として計画中。時間の都合もあり、車中よりの見学となった。

天草工業高校：実習館・体育館

本渡市のループ橋「天草瀬戸大橋」のたもとに位置し、市の人口のランドマークとなっている。海側の新築部分は旧校舎とも一体化し、大型客船を思わせる造りとなっている。ちなみに、全体の基本設計だけでも9ヶ月を要したそうです。



実習館



体育館

「やっと、長い一日が終わったぞ～」と思い、ふと我が手をみると、なんと柿の種とビール。これも旅の醍醐味。楽しいこう！楽しいこう！

夜の宴会

支部長の音頭により、夜の部始まり。(写真にて) 2次会は、若者だけで町へ繰り出す。「人口の割りに店も多く、ねえちゃんも可愛い。機会があればもう一度来たい。」

by K・A

(2 日 目)

ホテル ハイヤ大橋 うしぶか海彩館 石打ダム(管理所・資料館) 宇土マリーナハウス 別府

前日、見所・きれいどころを紹介してくれた牛深支部のお二方に先導されて2日目が始まる。

ハイヤ大橋

「俺はこれを見たかったんじゃ。これを見れば後は…」とは、S・H氏のコメント。この言葉どおり、今回のメインであるハイヤ大橋は、連続桁梁の構造であるにもかかわらず、風除板と底面の曲線により、薄く細やかで表現豊かな曲線として海上19mの空を横切る一見の価値のある構造物である。



夜のハイヤ大橋



全員でハイポーズ！

うしぶか海彩館

販売・飲食・展示の各ゾーン及びフェリーやバスの旅客待合ゾーンを併せ持つ複合施設。牛深港のほぼ中心に位置し、ハイヤ大橋が敷地の中央を貫くという特殊な環境にある。



うしぶか海彩館



石打ダム：管理所

石打ダム：管理所・資料館

水を満々とたたえた湖のほとりに、へばりつくように管理所が建っている。8枚の壁が地盤から立ち上がり、その間に空間がつけられている。コントロール機器は自動制御のため、人は常駐していない。

また、隣接された資料館では、ダムの動き、治水・利水の仕組みなど、暮らしと水の関わりについて学べる一方、周辺の自然を眺望できる施設ともなっている。



石打ダム：資料館

宇士マリーナハウス

マリンスポーツ及びレクリエーション活動を通じて海に親しむ機会と憩いの場の提供を目的として計画されたものである。なお、1999年の「くまもと未来国体」では、ヨット会場となる。

全行程を終え、恒例のZzz...

遠距離の強行軍ではあったが、大変充実した研修でした。また、再来年に思いを馳せながら、再び皆さんを実りある楽しい旅へ誘うぞ〜と。



ジバング天草にて





生田門(じょうだもん)の復元

～人と建築物の関係について～

平成13年4月、中津市立南部小学校の校門として、30年ぶりに生田門が戻ってきました。それまでの経緯について報告します。

「生田門」とは、中津藩家老生田家の門であり、建造された年代は、1700年前後ではないかといわれています。明治4年(1871)、福沢諭吉の建議により、旧生田家老屋敷内に中津市学校が創設され、その後学校としての歴史を重ねた後、明治43年(1910)南部小学校が開校し、以降生田門は、同小学校の校門として長く利用されてきました。



昭和30年の生田門

昭和39年(1964)老朽化のため閉鎖、そして同46年には南部小学校改築の際、道を挟んだ反対側の練心館の門として移築されました。しかし、同63年、瓦の落下など老朽化が進んだため、解体し以降部材は保管されていました。

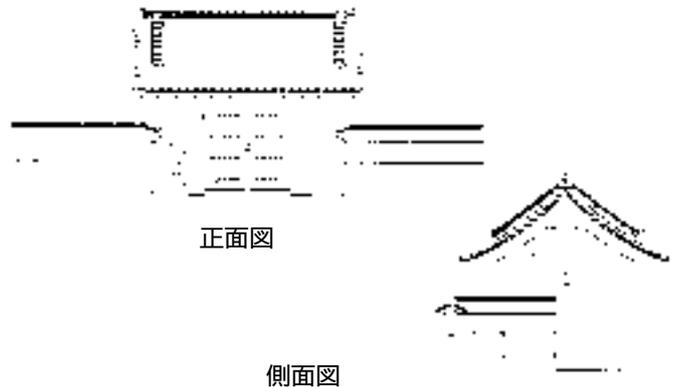


老朽化の進んだ生田門

平成10年、生田門復元検討委員会が設けられ、同11年度、基本設計、同12年度、生田門復元事業が実施されました。同13年4月より南部小学校の校門として、生徒たちや地元の人々に、地域のシンボルとして親しまれています。



復元された生田門



生田門復元を通して感じたこと

生田門復元事業が、市立小学校の校門として実施されたことに、驚きと嬉しさを感じました。

歴史的建造物の復元というと、柵で囲ってあったり、歴史資料館等の公的施設であったりと一般の人にとっては、どこか敷居の高いイメージがありました。しかし、小学校というどこにでもあり、そして誰もが記憶の中に持ち続けている場所に復元された事は、その建物や歴史的価値がすべての人々の共有物であることを表していると思いました。

建築物とは、それぞれが個々の所有物でありながら、その殆どが人前にさらされ、日々人の記憶の中に焼き付けられています。時間が経つほどより多くの人の記憶に残り、それは個々の所有物でありながら記憶の中では人々の共有物として存在している。そのような共有物を保存すること、あるいは新たに創り出すことは、人々の世代を超えた交流や、歴史の継承にも大きな意味を持つのではないのでしょうか。

中津支部 山村 増治

昭和の町の再生

豊後高田市は、江戸時代からの商いの町である。桂川から東西に、中央通り、新町さらには駅前通りと百件近くの商店が並んでいる。中には、江戸時代からの老舗の店舗もある。

昭和30年代頃は、町に活気があり人で溢れ、商店街は、生活の場であり地域住民の憩いの場所でもあった。高度経済成長期には、風情のある外観は消え、その頃流行でもあった、トタンなどにより元の姿を覆い隠してしまった。それは、全国何処に行っても同じ様な商店街となってしまった。そして現在、大手スーパーの進出により人は郊外に流れ、商店街は、昔のような活気が無くなってしまった。

そこで、活気のあった昭和30年代の町を蘇らせようという取り組みが、官民一体となって昨年からはじまった。高度経済成長期に覆い隠されしまった元の外観が少しずつ戻りつつある。昭和30年代の店舗、なかには、100年前の外観が、姿を現す。先人たちの匠の技が店の個性であり顔でもあった。今年も10店舗余りが改修されるそうで、今から楽しみである。武家屋敷などがある江戸時代の町並みの再生保存などは、よく見られるが、昭和の町を再生するというのは全国的にもめずらしいのではないだろうか。

近年、コンピューターや携帯電話などの普及により地域や時間に関係なくコミュニケーションをとる方法が多様化してきた現在では、一見閉鎖的な試みのように思われがちである。しかし、コミュニケーションの多様化は匿名性のあるもの（すべてがそうとも言えないが）になり人間関係は、気薄なものになってきてしまったように思える。そんな時代だからこそ町に活気があり個性がありお互いが助け合いながら生きていた時代を再生しようというのが「昭和の町ルネッサンス」だ。内的には、地域住民同志の昔のような密接に関わり合いと、外的には、観光客と交流できる文化的な個性のある地域にしようという試みである。



また、その拠点として旧高田農業倉庫を改修して「ぶんどたかだ昭和ロマン蔵」というコミュニケーションの場の計画も始まっている。中には「昭和のおもちゃ博物館」や「昭和の暮らし館」なども計画されている。観光の拠点になるのはもちろん、地域住民の憩いの場になることが大きな目的の1つである。

戦後生まれの世代の人達は幼少を懐かしく思い、それ以前に生まれの人達は、つい最近のような昔を思いすに違いない。まだ、全体的には、改修工事は終わっていないが、昨年11月に、「昭和ロマン蔵・蔵開き博覧会」が部分的に仮オープンした。それに協賛して高田支部のコーナーでは建築士と気楽に相談できる建築相談所を開設し「豊の国木造建築賞」の作品パネルを掲載し、県産木材利用の助成制度及び住宅金融公庫融資資料を配布し、市民から好評を得て建築士会の在るべき姿をささやかだが紹介できた。



5月には五月祭、11月は秋祭の大たいまつ、正月にホーライエンヤ。そんな機会を利用して、西の国東、豊後高田市の「昭和の町」を散策してみても、いかが。



日本建築学会・受賞について

臼杵支部：三重野 元良

大分大学工学部鈴木義弘講師（日本建築学会九州支部・常議員）が推薦者となり、日本建築学会九州支部「九州支部業績賞」を臼杵市（後藤國利市長）が臼杵市の歴史的景観保全における町づくり活動を認められ、表彰を受ける事になりました。昨年末、村松幸彦先生とともに、前佐々木支部長と私とで、臼杵市長への受諾ご了解のため伺いました。

業績の概念として1975年に発足した「臼杵の歴史景観を守る会」が中心になり開催された「第6回全国町並みゼミ」がきっかけとなり、町づくり活動推進の契機になり各団体や研究会などの組織化にも繋がった。さらにそれ以降、中心部の商店街活性化事業などに行政施策が加わる事により、歴史的環境保全が進み始めた。また近年の「第22回全国町並みゼミ」の開催のよって再度開催と「第19回ナショナルトラスト全国大会」の、景観整備の努力が評価されるに至った。特に近年コンサルに頼らず地元からなる町づくり気運の高鳴りとその蓄積の上に、民間による「(株)まちづくり臼杵」が設立され、いよいよ今年6月に第1歩となる店が「オープンする事になるなど、現実に具体化され町づくり活動が大きく地元根付いていることは、自他共に認められるところとなった。

【推薦理由として】

武家屋敷、商家(町家)地区、神社仏閣地区から形成された歴史的環境を総合的に保全している特色をもつ点。
時流に押される事なく、一貫して地域の歴史性、固有性を評価し、継続的な活動が続けられている点。
官民一体となった町づくりが実現している点。
対象地区のみならず、大分県や九州全体に対しても町づくり活動が活性化する上での多大な影響をもたらした点。
これからの活動が、持続可能型社会を志向する21世紀の住環境形成構想、発展させる上でも大いに模範となる先駆性を有する点。

このように市内の町づくり団体も多い中に住民活動を横断的に支援し積極的な事業化も行なっている臼杵市（後藤市長）が推薦された訳であります。以上の事から土会支部も多くに関わって来ていますが、さらに視点は町並み保存から自然や技術への伝承などへと展開しており、次段階の町づくり活動の可能性を示唆するものとして土会支部へは、引き続き期待されるものがあると思います。



くにさき建築士会館 完成!



遂に、待望の建築士会館が完成しました。くにさき総合文化センター [アスト(明日人)くにさき] の建築に伴い旧建築士会館が立退く事になりました。2度の仮事務所を点々と移動しまして会員の方々には、不便をかけたが、旧会館の道路を隔てた西側に移動する事が出来ました。

建築工事に際して、移動保障費だけでは不足した為に、会員の方々の貴重な浄財を仰ぎ完成する事が出来ました。

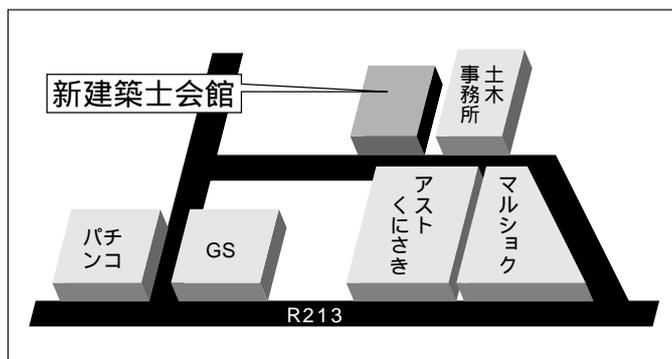
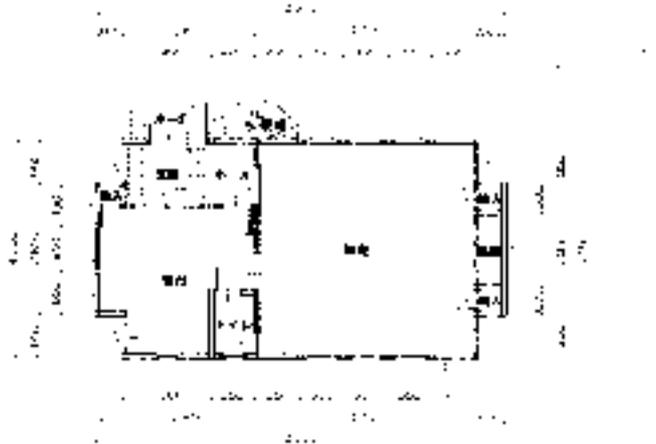
建物は、R立ハゼ(カラーガルバ)を被り、タイル調サイディングをまとった、洒落た出で立ちで、内部には木の薫る、開放感ある集会ホールと、機能美を備えた、受付に成っています。

工事は、9月17日に役員方々の参加を頂き起工式を行い、12月10日に落成式を無事迎える事が出来ました。



場 所 国東町大字安国718番地
TEL 0978 - 72 - 2887
FAX 0978 - 72 - 2887

業務時間
月～金 9:00～12:30 事務員岩崎



インフォメーション

INFORMATION

宇佐支部

建築ガイドマップ大分編協力依頼に基づいて、宇佐支部では、支部活動の一環として、取り組もうと考え、懇親会と会議を兼ねて、市内の建築物のリストについて再確認をし、意見交換を行いました。そこで昨年11月8日と3日の2日間にわたり、それらの建物について調査見学、資料収集を行いました。その結果の一部を紹介したいと思います。

建物名称	竣工年	所在地	設計者名
施行業者	コメント		

金丸邸	1987年	宇佐市大字長洲	独楽蔵
奥城建設	娘さんが、住宅雑誌を見て手紙を書き、独楽蔵に設計を依頼。古い建物をリニューアルすることで、長洲の街並みに溶け込み、内部を造り付けのシンク、椅子あるいは蘇った化粧の梁が印象的である。		



山口家住宅	不詳	宇佐市大字麻生	不詳
不詳	宇佐・院内・本耶馬溪・中津の交通の分岐点に位置し、西南の役の際には戦火に見舞われた。砦として全体が配置され、全面のゲートを通り抜け中庭に入ると右側に全国の蔵シリーズで紹介された蔵が、あるいは身分に応じて出入りできる4つの玄関、内部の装飾など文化的価値が高い。		



とうがらし 1997年 宇佐市大字上庄 独楽蔵 江河工務店 定年夫婦の第二の人生、暮らし方を「かたち」にした建物である。外観はメタリックな感じであるが、内部は木の仕上げ、造り付け円卓、半地下にある「くど」など暖かみがある。料理し、食し、人と語らうための場である。



NO4	宇佐の家	2001年	宇佐市大字南宇佐
	山内英生 / ネイチャースケープ一級建築士事務所		
	西日本土木(株)		10号線から見える2つのシンボリックな塔、内外部ともほとんど左官仕上げで色々な表情を演出。階段部分の吹き抜け空間は、イスラムの香り。ゲストルームの天井は、5~10m以上、圧巻である。10年後には完成すると左官職人の原田さんは語る。



NO5	美濃歯科医院	1930年代頃	宇佐市大字長洲
	不詳	不詳	路地のコミュニティー空間が今もなお残る長洲北部の人口に位置する。建物は内科医院から歯科医院に用途を変えたが、内部の漆喰仕上げの壁、天井や腰板、チーク材の額縁廻りは当時のまま、外部正面ファサードはシンメトリー、かつリズムカルなデザイン構成で、地域に印象深い変わらない表情を与え続けている。



<コメント 西胤和弘 + 桜田康一 写真 今仁鉄也>



佐賀関町文化施設建設計画

検討項目	町の考え方
1.建設候補地	田尻埋立地
2.施設の形態	文化ホール・トレーニングルーム 研修会議室等
3.施設の構造	R C・S R C 2～3 F
4.事業費規模	文化施設のみ10億円程度、 複合施設別途上積み
5.計画実施年度	平成.....予定
6.その他	問題点等の提起

文化施設計画完成までの日程

平成12年8月2日
町長よりの依頼

平成12年9月5日
役員会

平成12年10月7日
臨時総会の開催

平成12年10月28日
第1回文化施設企画立案P・T打合せ
(役割分担・作業工程等)

平成12年11月7日
第2回文化施設企画立案P・T打合せ
(担当課の施設の希望等打合せ)

平成12年11月25日
第1回視察研修旅行
(九重町文化センター及び山国町文化センター)

平成13年12月9日
第2回視察研修旅行
(安心院町文化センター・国見町文化センター)

平成13年1月13日
第3回文化施設企画立案P・T打合せ
(研修視察のまとめ・アンケートに付いて)

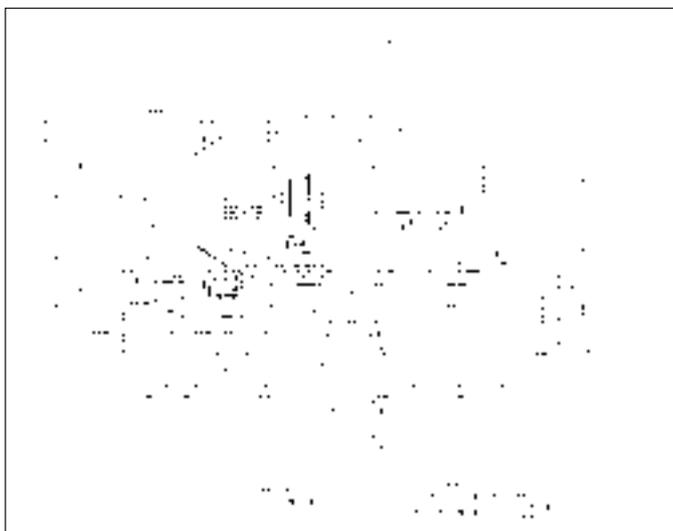
平成13年1月15日
第1回町長との意見交換会

平成13年4月16日
第4回文化施設企画立案P・T打合せ
(アンケート調査のまとめ)

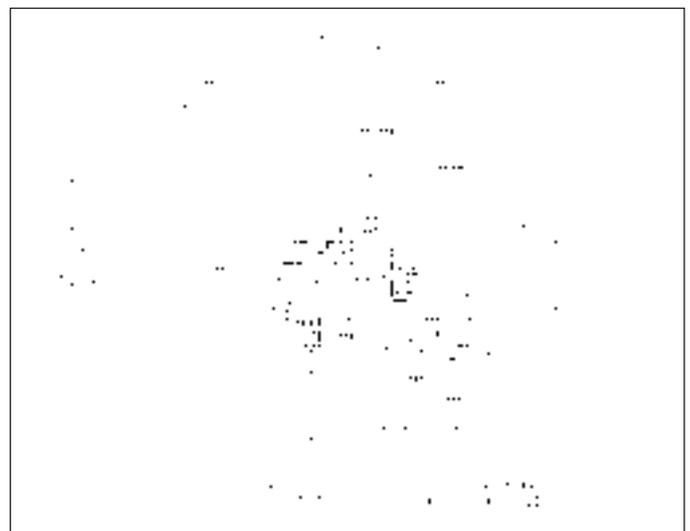
平成13年4月21日
総会報告

平成13年4月23日より
報告書・パース等製作作業

平成13年9月29日
完成報告書発表会
報告書等町長に提出



中央公民館平面図



健康トレーニング平面図

計 画 内 容

1. 目 的

町民に親しまれる明るい文化施設を目的とし、本町の社会教育の中核施設となり、利用者対象者の心身共に健康となるべき「憩いと活力」のある施設計画を目的とする。

2. 会議の方法

10名でプロジェクトチームを組織し、町行政の企画調整課及び社会教育課と協議しながら、計画立案を進めた。

その他省略。

3. 先進地視察

省略

4. アンケート

施設計画を、作成することに当たり、必要不可欠な物として、町民の意識や意見を、熟知することが先決であるとし、本計画への重要な参考資料として取り扱う。

その他省略

* アンケートによって分析される事項

全般的に大分市周辺の文化施設を主に利用しているが、利用状況については様々なイベントに参加するために分散化の傾向が見られる。

その他 6 項目省略

5. 敷地条件と利用計画

敷地条件は、佐賀関港田尻地区の埋立地(以下省略)

利用計画に付いては

県道との接道計画(以下省略)

敷地内道路(以下省略)

駐車場(以下省略)

建物配置(以下省略)

6. 各部平面計画

中央公民館(詳細省略)

大ホール

小ホール

図書館

視聴覚・メディアルーム

研修室

調理実習室

和室

ホワイエ・ギャラリー

健康トレーニングセンター(詳細省略)

プール・リラクゼーションプール

トレーニングルーム

7. 施設安全計画

8. 省エネルギー・設備計画

9. 概算事業費

10. 補助事業導入計画

11. 資金計画

*(資料等ご利用の方は、当支部まで)

プロジェクトチームの皆様には、
長い間お疲れ様でした。





南の岬にはRC造の密集した海上都市「保戸島」が浮かび、東の岬には珍しくなった灰石の組積造建築物が存在する。岬途中には龍神様を奉る「成景寺」の神殿が珍しく、よく見ると防波堤を兼ねた建築物である。



「鉦山入口」



「高速道路IC」



「保戸島」



(上)「成景寺神殿」
(左)「貯蔵庫」



津久見市は昨年12月末「高速道路開通」に盛り上がり、さまざまな町おこしの声があがっています。建築士会も建築分野による活動を考案しつつあるのだが、開通より1か月間の1日平均出発車輛台数は2,277台と好調。1台4人同乗すれば3日間で市民全員移動できる利用率であり、会員もすでに出発した為、今回は活動報告でなく「津久見支部・番外編」紹介を少々。

津久見市はセメント工場・みかん生産地として一般的に知られている事と思いますが、今では「古タイヤ・雪印製品・肉骨粉」等の焼却処分の町として（産廃焼却処理場？）注目されています。市内は標高536m・山椒魚生息池のある「鎮南山」と「願寺鉦山」・奥には尺間山を背にして広がる港町である。

隣町の臼杵石仏は有名ですが、津久見にも安全祈願の為に「双子石像」がいつしか舞い降り、商売繁盛祈願の朝日神社の「猫さま」など、知られていない場所があるのだ。（ヒント：津久見IC近くにあるらしい）



鎮南山
「明覚庵・山椒魚生息池」



(上)「石像」(右)「朝日神社」

道路沿いには鉦山で作業する大型重機用の巨大タイヤが見られるが、古タイヤは焼却ではなく、リサイクルされている物もある。

駅前では交通整理？の大友宗麟像・商店街には歴史ある木造3階建て家屋も健在しています。今後も知られざる津久見を紹介したいと思います。

高速道路I・C横には神秘的「水晶池」が出迎えてくれます。ぜひ一度津久見へ！皆さんと近距離になった事なので「移籍希望者」は受付しています。...では又秘蔵写真は次号にて（津久見支部広報担当）



「タイヤ素顔」



「変身～タイヤ門」



「神秘の水晶池」

「スギヒを育てて生活できないか」

書籍紹介
と
作業場視察

林業への想い
秦 猛 巳

きっかけ

大分市中央町「サントリージガバー」の角を西の方に少し入ると“ひょうたん”がある。暖簾をくぐると、なじみ客がほとんどで、役所関係のOBのたまり場ともなっている。床は土間コンクリートでパイプ椅子。今は何故か新鮮な感じがする。其処で、先輩の友人である秦氏を紹介され、建築の話から林業の話になり、スギヒを育てているということで、同時に書籍も紹介されたという具合。

小径木、特に海布〔カイク;末口6cm未満を呼ぶ〕の3mものを軒下の垂木や天井竿縁に使うため、通直〔真っ直ぐ〕・完満〔本口末口が同じ太さ〕・無節が求められる。その為の苦勞は耐えない。経験の積み重ねにより良い材質に育てると言えども、カイクとして伐採出来るようになるのに15年必要。人の一生を考えた場合、余裕がないので、他事例の研究も欠かせない。というような話を伺った。



カイクとして完成品の小径木、品種は釈迦院（杉）

本のこと

B5版100ページ足らずの書籍であるが、読み終えるのに結構時間を要した。というのは、私の勉強不足もあり、専門用語に疎いため、次回を読み始めるのに一々元に戻らなければならない。昔、テレビの連続ドラマがよく先週のおさらいから始まっていたのと同じだ。

しかし、読み進める内に自分が斧や鉈（なた;この字がまず読めなかった）を持って山の中に入っている気分になった。伐開後の野焼きで山火事になりそうなことや、蝮に噛まれた時のことなど、エピソードも交えた、苦勞人の物語とも言える。工業化住宅に囲まれて生活している現代人にとって、木の原点に少し近づいて、まだこういう世界で汗を流している方がいるのだな—と少し安心感をもたらしてくれる一冊。



30代で檜を製材所で誉められたのが山に入るきっかけとなったと語る秦さんとカイク

問い合わせは土会事務局まで。

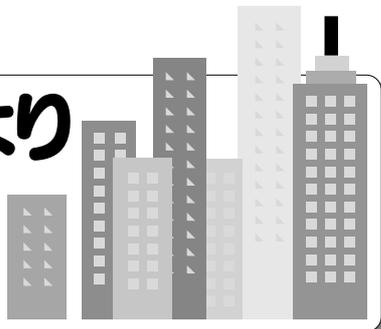
（取材：Frank Lloyd Night / 大分支部）



日田6号など他の品種も制作している作業場、昔の納屋を改造している

行政だより

大分県土木建築部企画検査室



建築リサイクル法の施行について

建設リサイクル法は、正式には「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」といいます。

近年、建設廃棄物の発生量の増大により、最終処分場のひっ迫及び廃棄物の不法投棄等の横行など建設廃棄物をめぐる問題が深刻化し、資源の有効な利用を確保する観点から、建設廃棄物について再資源化を行い、再び資源として利用していくことが強く求められています。

このような背景から、平成12年5月31日に、特定の建設資材（コンクリート、アスファルト、木材）について、分別解体等及び再資源化等を促進するための措置を講ずるとともに、解体工事業者の登録制度を実施すること等により、資源の有効な利用及び廃棄物の適正な処理を確保することを目的として制定、公布されました。

この法律の主な柱は3つです。

1. 分別解体等及び再資源化等の義務付け
2. 発注者・受注者間の契約手続きの整備
3. 解体工事業者の登録制度の創設

以下、それぞれの概要について説明をしていきます。

1 分別解体等及び再資源化等の義務付け

一定規模以上の建築物物その他の工作物に関する建設工事（対象建設工事）については、一定の技術基準に従い、当該建築物等に使用されている特定の建設資材を分別解体等により現場で分別することが義務付けられました。

対象建設工事

特定の建設資材（コンクリート、木材、アスファルト）を用いた建築物等に係る解体工事又はその施行に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が一定基準以上のもの（別表）が義務付けの対象となります。

また、別表の規模以上の工事は届け出が必要となります。（詳細は2 - で説明しています。）

別表 建設工事の規模に関する基準

建築物の解体工事	床面積80㎡以上
建築物の新築・増築工事等	床面積500㎡
建築物の修繕・模様替	請負額1億円以上
土木工作物の建設工事	請負額500万円以上

分別解体等実施義務

対象建設工事受注者に対して、分別解体等を義務付けました。

分別解体等は、一定の技術基準に従い、建築物に用いられた特定建設資材に係る廃棄物をその種類ごとに分別しつつ計画的に工事を施行する等により実施することが必要となります。

標準的な作業手順（建築物の解体の場合）

- 建築設備・内装材等の取り外し
- 屋根ふき材の取り外し
- 外装材・上部構造部材の取り壊し
- 基礎及び外構の取り壊し

再資源化等実施義務

対象建設工事受注者に対して、分別解体等に伴って生じた特定建設資材廃棄物の再資源化を義務付けました。

なお、木材については、一定一定距離内に再資源化施設がないなど、再資源化が困難な場合には、縮減を実施することで対応します。

2 発注者・受注者間の契約手続きの整備

適性な分別解体等及び再資源化等の実施を確保するための発注者による工事の事前届出や元請業者から発注者への事後報告、現場における標識の掲示等の義務と受注者への適正なコストの支払いを確保するための発注者・受注者間の契約手続きにおける明記内容が整備されました。

元請業者から発注者への説明

対象建設工事の元請業者は、発注者に対し、分別解体等の計画等について書面を交付して説明することとなります。

発注者から都道府県知事への工事の届出

対象工事の発注者は、工事着手の7日前までに、建築物等の構造、工事着手時期、分別解体等の計画

等について、県知事（土木事務所）又は市町（大分、別府、中津、日田、佐伯、宇佐の各市）に届け出が必要となります。

元請業者から下請業者への告知

元請業者は、下請業者に対し、県知事への届出事項を告知しなければなりません。

標識の掲示

解体工事業者は、解体工事の現場ごとに、公衆の見やすい場所に標識を掲示しなければなりません。

元請業者から発注者への事後報告

元請業者は、再資源化等が完了したときは、その旨を発注者に書面で報告するとともに、再資源化等の実施状況に関する記録を作成、保存しなければなりません。

契約書面への解体工事費等の明記

対象建設工事の契約書面においては、分別解体等の方法、解体工事に要する費用等を明記しなければなりません。

3 解体工事業者の登録制度の創設

適正な解体工事を実施するため、解体工事業者の登録制度及び解体工事現場への技術管理者の配置等が必要となりました。

解体工事業者の登録

解体工事業を営もうとする者に、都道府県知事への登録を義務付けました。ただし、土木工事業、建築工事業及びとび・土工工事業に係る建設業の許可を受けたものは除かれています。

技術管理者選任

解体工事業者に、解体工事の技術上の管理をつかさどる技術管理者の選任を義務付けました。

設計者や施行者の役割、届け出手続きや分別解体の方法等詳細については、未発表の部分がありますので、今後の情報にご注意ください。

全ての法の施行（分別解体等及び再資源化等の義務付け）は平成14年5月30日からとなりますが、既に解体工事業者の登録制度は、平成13年5月30日から施行されています。

お詫びと訂正 「建築士おおいた」No.83の行政だよりの記事におきまして、建築住宅センターホームページのアドレスに誤りがございましたので、訂正してお詫び申し上げます。
 (誤) <http://www6.ocn.ne.jp/oita-kj/koureisya.html> (正) <http://www6.ocn.ne.jp/oita-kj/koureisya.htm>

新 会 員 紹 介 (H.14年1月入会から3月入会)

支部	氏名	生年	級別	登録番号	〒	住 所	電 話	勤務先(㊟)
大分	吉田 晃	S33	1	218517	870-0805	大分市上白木5組	(097) 534-6290	吉田住宅相談室 (097) 534-6290
"	古荘 智美	S47	2	7038	870-0805	大分市下郡北2丁目2番30~607	(097) 568-1037	(株)九建設 (097) 586-0088
"	庄司 麻菜	S53	2	7037	870-0031	大分市勢家町1丁目1-12	(097) 532-9346	(株)九建設 (097) 586-0088
"	日小田卓也	S53	2	6859	870-0162	大分市明野高尾4丁目9番11号	(097) 551-2775	(株)久光大分 (097) 568-8807
"	後藤 賢治	S31	2	大阪府 32903	879-7885	大分市梅ヶ丘1丁目6-4	(097) 595-0175	-
佐賀関	大本恵美子	S49	1	291319	879-2201	北海道郡佐賀関町大字関2082番地	(097) 575-0180	(有)平野・古荘1級 建築士事務所 (097) 575-0135
臼杵	芝崎 一男	S27	2	3703	875-0065	臼杵市大字家野660番地	(0972) 62-4047	(株)芝崎組 (097) 569-7867
中津	新居 博	S44	準	-	871-0058	中津市豊田町1-14-25	(0979) 24-4621	(株)新居商店 (0979) 22-2890
"	三雲美恵子	S31	2	5883	871-0005	中津市大字合馬419-2	(0979) 24-3636	(有)みくも設計 (0979) 24-3636
"	太田 長利	S29	1	225569	871-0834	福岡県築上郡吉富町大字土屋347-3	(0979) 22-8598	(株)栄都 (0979) 23-5066
"	萩本 明治	S40	2	6049	871-0024	中津市中央町1-8-41	(0979) 23-0459	(株)東九ハウジング (0979) 32-7400
"	内立 隆司	S30	2	6982	879-0102	中津市大字鍋島559	(0979) 32-5334	堀之内建設 (0978) 32-2233
"	橋本 洋一	S42	2	6751	871-0006	中津市大字東浜293-5	(0979) 23-7488	橋本総合建設 (0979) 23-7488
"	長野 定生	S43	準	-	871-0033	中津市大字島田438-9	(0979) 24-2498	(株)ナガノ (0979) 22-1165
"	前田 政憲	S52	2	6960	879-0123	中津市大字田尻614番地	(0979) 32-2256	(株)ロイヤルハウス中津 (0979) 24-5228
"	松本 剛	S47	準	-	871-0161	中津市大字上池永103-21	(0979) 85-0315	(株)松本建設 (0979) 32-6939



事務局だより

【行事報告】

建築士のための指定講習会

日時 平成14年2月18日
場所 大分県教育会館
受講者 268名

女性部会・大分支部

青年部共催 講習会

日時 平成14年3月2日
場所 アートプラザ研修室
演題 「大分市のまちづくり」
講師 大分市助役 松井直人氏
参加 約50名

【会議報告】

編集作業

日時 平成13年12月11日
場所 建築士会事務局
出席 6名
概要 「建築士大分」
No.83の編集作業について

建築士会創立50周年記念事業実行委員会

日時 平成13年12月21日
場所 コンパルホール
出席 17名
概要 建築士会創立50周年記念事業について

建築士会創立50周年記念事業実行委員会

(記念式典係)
日時 平成14年2月5日
場所 建築士会事務局
出席 12名
概要 建築士会創立50周年記念講演会
講師について
表彰対象者について

編集会議

日時 平成14年2月7日
場所 コンパルホール
出席 18名
概要 「建築士大分」No.84の編集方針について

建築士会創立50周年記念事業実行委員会

日時 平成14年2月8日
場所 コンパルホール
出席 15名
概要 建築士会創立50周年記念事業実施について

【建築士会連合会関係】

指定講習会テキスト説明会

日時 平成13年12月6日
場所 東京都
出席 御手洗事務局長

第11回まちづくり会議

日時 平成14年2月1日～2月2日
場所 東京都多摩市
出席 松崎 和夫(大分支部)
清水 剛(大分支部)
岩田 政勝(玖珠支部)

全国青年部長会議

日時 平成14年3月1日～3月2日
場所 東京都
出席 今永青年部会長、志賀青年副部会長

【九州ブロック会関係】

青年建築士協議会臨時会

日時 平成14年1月12日
場所 宮崎市
出席 今永青年部会長、志賀青年副部会長

青年建築士協議会

日時 平成14年1月26日
場所 宮崎市
出席 今永青年部会長、志賀青年副部会長

パッションin宮崎

日 時 平成14年1月26日

場 所 宮崎市

出 席 35名

第3回女性部会定例会議

日 時 平成14年3月2日

場 所 大分市

出 席 11名

第3回会長会議

日 時 平成14年3月9日

場 所 長崎市

出 席 岩瀬会長

【建築士試験業務関係】

建築士試験業務九州ブロック第2回連絡会議

日 時 平成13年12月11日

場 所 福岡市

出 席 岩瀬会長、御手洗事務局長

【その他の会議】

大分県やさしいまちづくり推進協議会

日 時 平成14年2月26日

場 所 大分スポーツ公園総合競技場（ビッグアイ）

出 席 宮崎 隆博氏

大分県ボランティア連絡協議会

日 時 平成14年3月14日

場 所 大分県総合社会福祉会館

出 席 首藤常務理事

住宅・建材カナディアンセミナーin大分 開催のご案内

日 時 「北米型木造建築デザインセミナー（無料）」
2002年5月21日（火）
13：30～17：00（受付13：00より）
「カナダ2×4工法セミナー」
（参加費：5,000円、テキスト代含む）
2002年5月22日（水）
10：00～17：00（受付9：30より）

場 所 コンパルホール 大分市府内町1-5-38
主 催 カナダ大使館、在福岡カナダ領事館
共 催 アルバータ州政府在日事務所

BCウッド日本事務所

カナダ林産業審議会

SPFプログラム

CANPLY（カナダ林産業審議会メンバー）

ケベック州政府在日事務所

日本貿易振興会（ジェトロ）

後援(予定) 国土交通省、大分県、住宅金融公庫

（社）日本ツーバイフォー建築協会

（社）大分県建築士会

（社）大分県建築士事務所協会

大分県建設業協会

問い合わせ先

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10

ATCビル1TM棟9階

BCウッド日本事務所 担当：塩津

TEL：06-6615-5501

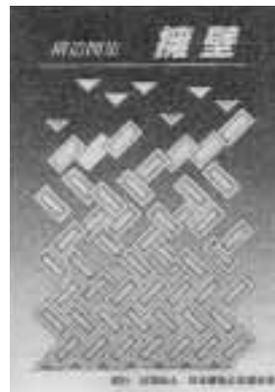
FAX：06-6615-5502

申込み等、詳細については電務局までご連絡下さい。

日程表、申込用紙をFAXいたします。

構造図集 擁壁 発刊！

（平成13年12月改訂版）



・A4判73頁

・定価2,100円

・送料340円

事務局へ申込み下さい。

まちづくり活動助

中津支部

現在、島田本町地区は、県道拡幅と市の区画整理事業で大きく変わろうとしています。

私たち中津支部青年部では、以前より関心を持っており、建築に携わる者として何か出来ないものかと考えていました。そんな折、地元の人から“将来の街並み”についての相談があり、二つ返事で協力させてもらうことにしました。

本町通りは、中津駅北西部の幹線道路沿いに商店が所狭しと並び、以前はかなりの賑わいを見せていました。近年、大型店の進出とともに客足が減少し、店主も後継者のいない高齢者が大半を占めているのが現状です。

私たちはまず、建物よりも公共の道路や歩道等の景観から取り組みました。それらが整備されれば、おのずと建物についても関心が深まるだろうと考えたからです。

現地調査や資料収集・アンケート調査などを行った後、昨年10月に地元の“まちづくりを考える会”に参加し、簡単な活動報告や意見交換をしました。地元参加者の関心は高かったのですが、将来の生活不安が根底にあることをつくづく感じました。

私たちの活動はまだ、始まったばかりです。これから先、何をどうすべきか話し合いの中で方向性を見いだしていかなければなりませんし、それにはまず地元の盛り上がり第一であり、少しでもその為のお手伝いが出ればと考えています。

最後に、今まで手弁当で活動してきましたが、かかる経費に頭を悩ませていました。今回「まちづくり活動助成金」を交付していただき、本当に感謝しております。今後の活動に大いに活用させていただきます。

佐賀関支部

当支部では、町行政からの要請により文化体育総合施設建設計画のアイデア策定の委嘱をボランティアによる活動として受けました。

この計画は佐賀関町が進める「町民すこやか健康推進事業」に基づき、文化体育総合施設の基本構想を策定するものです。

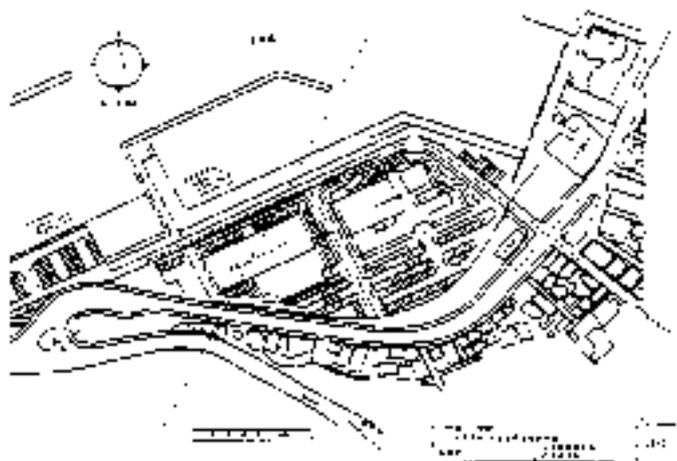
推進方法としては、手始めに支部内でプロジェクトグループを編成し、作業手順を協議しました。

現在の町公民館活動の実態調査と町民へのアンケートを集計し、町民のニーズを把握した上で、県内の類似施設を4ヶ所選定し視察研究を開催しました。

現段階は、アンケートの分析から、施設に必要な間取りや設備を検討しています。



視察状況
視察先での協議状況「九重町文化センター」



予定配置図
佐賀関町港湾埋立地での配置計画



成事業中間報告

玖珠支部

豊後森機関庫保存運動と森地区街なみづくりで
地域に根ざした建築士会を!!

豊後森機関庫保存運動

機関庫の保存に対する署名運動も予想を超える2万2千もの署名を頂き、署名を添えて陳情書を2月20日町長へ、21日に議会に提出しました。町側も議会側も早急にJRと協議し、2万2千人の意志を大切にしたいと前向きな姿勢を見せて頂きました。

保存委員会としては、署名簿を提出する事だけが目的ではなく保存を含めた町づくりを考えているのであり、これから第2、第3のステップを行政や他の団体、町民と一緒に考え、実行しようとしています。別紙に今後の保存委員会としての提案、資料を添付しておきます。



玖珠支部会員による機関庫実測作業



床板を直接柱で支える無梁版構造

森地区街なみづくり

旧森地区は、明治の初期に大火に見まわれたが、その昔は森藩の城下町として栄えた町で、久留島陣屋跡を中心に三島公園や神社及び仏閣等の歴史的な遺構が多数集積する地域である。

森町では、何年も前から街なみづくりの声はあったのですが、昨年より国の街なみ環境整備事業の実施が決まり、役場企画課から建築士会への支援依頼もあり、士会として協議会へ3名の会員をアドバイザーとして送り込み、多数の人員が必要な場合は支部会員全員で取り組んできました。現在まで街なみ散策や、先進地の視察街なみ調査など行いました。現在は街づくり協定書の検討を行っています。今後協定書をもとにした「街なみガイドライン」を建築士会で作製する予定になっています。



協議会主催で、一般町民にも呼びかけた「街なみ散策」
玖珠支部会員も多数参加した。



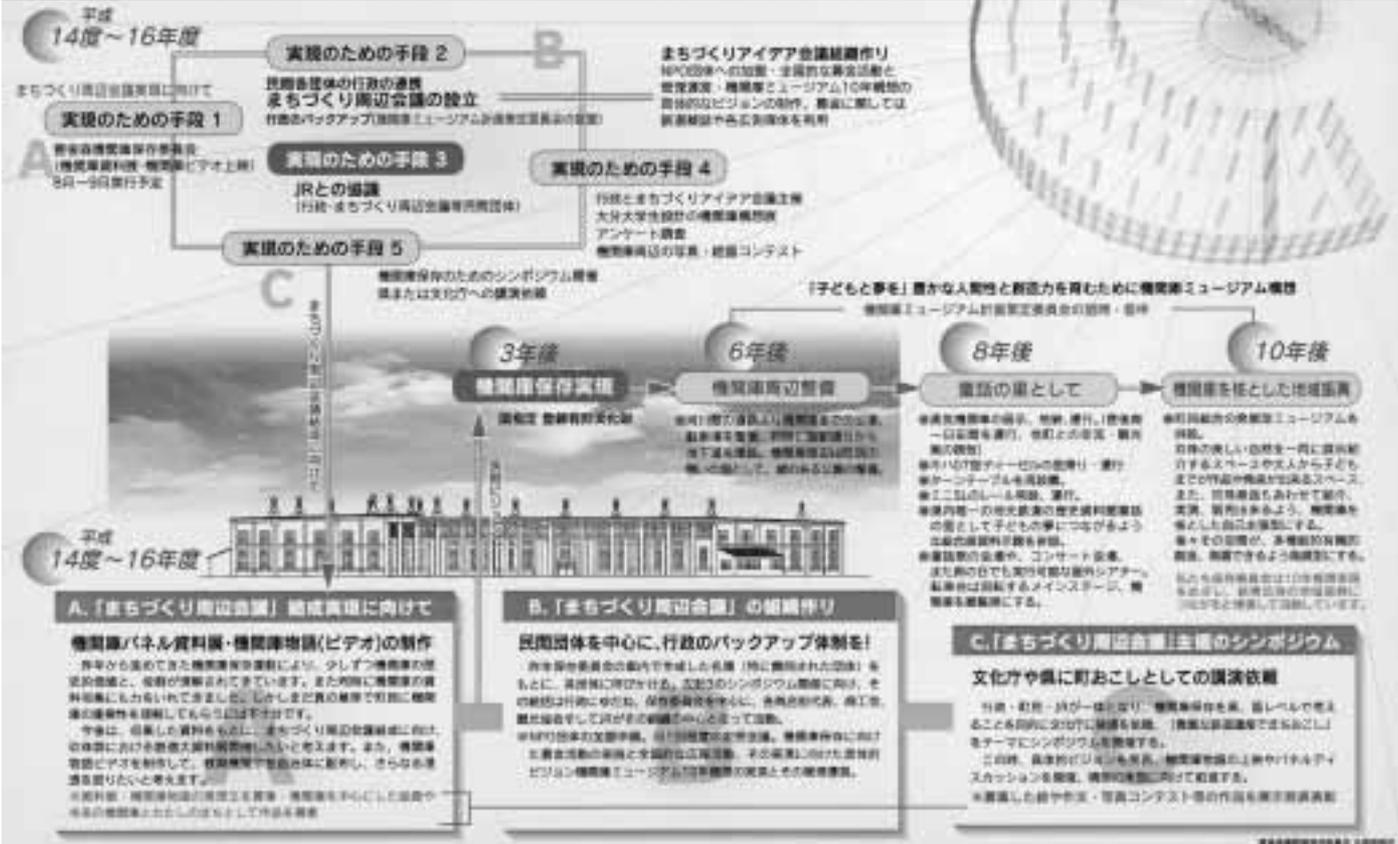
森町は商家や神社の他、土蔵も多く残っている。

珍珠の振興に
欠かせない

機関庫ミュージアム10年構想

実現に向けての今後の具体的な活動は、保存委員会が中心となる活動に変わらせないためにも、暫定体を設けた大分県団体の設立が必要です。例えば「まちづくり周辺協議会」の設立が必要不可欠だと考えています。

〔保存委員会提案資料〕



大分県建築士会創立50周年記念行事開催のお知らせ

当大分県建築士会は、本年をもって創立後50周年を迎えることになり、下記により創立記念行事を開催致しますので、お知らせ致します。

記念講演は、テレビでおなじみの「建築探訪」でリポーターをつとめている俳優の渡辺篤史氏が行います。入場無料ですので、会員、非会員にかかわらずおさそいあわせの上、御来場下さい。

記

1. 開催日時 平成14年5月23日(木) 13:15~16:30
(同日 10:30~平成14年度定例総会 開催)
2. 開催場所 大分市府内町
「コンパルホール」1階 文化ホール
3. 行事内容 第1部 記念式典 13:15~14:45
永年会員表彰 他
第2部 記念講演 15:00~16:30
講師:俳優 渡辺 篤史氏
「建築探訪」リポーター(テレビ朝日)
演題:「こんな家を建てたい」

入場無料

当士会では、記念行事の一貫として50周年記念誌の発行を予定しております。

